

共創モデル実証運行事業の進捗について (報告事項)

報告事業の概要

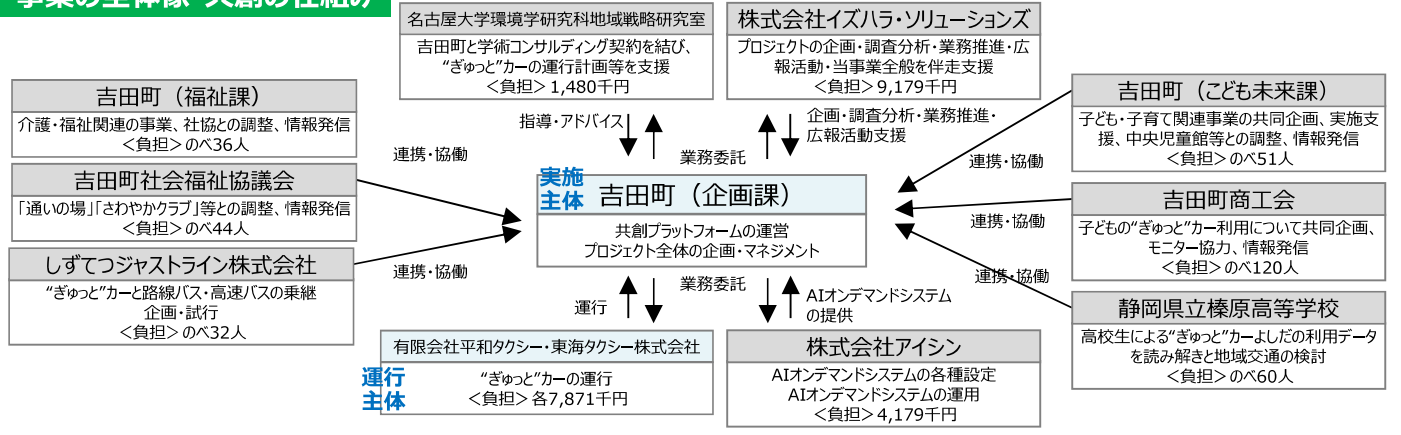
共創モデル実証 運行事業の概要	交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域の多様な関係者が連携・協働した取組を通じて、地域交通の維持・活性化を図る事業を支援
本年度テーマ	“ぎゅっと”カーよしだの活用で、子育て世代等の送迎負荷軽減とみんなで実験データを読み解き地域交通を考える機運づくり
共創パートナー	<ul style="list-style-type: none"> ① 吉田町（企画課、こども未来課、福祉課） ② 有限会社平和タクシー ③ 東海タクシー株式会社 ④ しずてつジャストライン株式会社 ⑤ 株式会社アイシン ⑥ 吉田町商工会 ⑦ 名古屋大学環境学研究科地域戦略研究室 ⑧ 株式会社イズハラ・ソリューションズ ⑨ 吉田町社会福祉協議会 ⑩ 静岡県立榛原高等学校
事業の進捗	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和7年7月13日 “ぎゅっと”カーよしだデータ読み解き会開催 ● 令和7年7月22日 榛原高校探求授業にて公共交通に係る講話（名古屋大学） ● 令和7年7月26日 伝実行委員会主催イベント「伝」に参加 （後援：吉田町、吉田町教育委員会、吉田町商工会）

“ぎゅっと”カーよしだの活用で、子育て世代等の送迎負担軽減と みんなで実験データを読み解き地域交通を考える機運づくり

応募様式A

吉田町地域公共交通協議会

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

（事業の概要）

- 事業の目的：まちづくりと連携した面的な交通ネットワークを構築し、自家用車に頼らず、町内どこでも利用できる公共交通サービスを実現する。特に、高校生子どもと高齢者が気兼ねなく出かけられるまちをめざす。
- ①吉田町（企画課・こども未来課）、商工会と共に、夕方以降の塾や習い事への子供の移動について、子育て世代の送迎負担の軽減と子ども移動環境の改善に取り組む。商工会との連携で、運行計画を作成しモニターによる試行、キャッシュレス決済の導入等でPDCAを回し、“ぎゅっと”カーの新たな活用方法を探り、運行形態の追加・変更に取り組む。
- ②吉田町（企画課）、榛原高校、名古屋大学等が連携・協働し、これまでの実証実験の利用実績やアンケート調査結果等を活用し「みんなで“ぎゅっと”カーのデータを読み解き地域交通を考える会」などを企画、実施する。
- ③吉田町（企画課）、社会福祉協議会が連携・協働し、吉田町で開催されるイベントへの“ぎゅっと”カー特別便を企画し、テスト運行する。高齢者のお出かけのきっかけづくりに貢献できるしくみを検討し、“ぎゅっと”カーの新たな活用方法を探り、運行形態の追加・変更に取り組む。

（地域の関係者との連携・協働）

- ・吉田町と商工会、社協が参画し、“ぎゅっと”カーの柔軟な活用方法を見つけ、時間や曜日で使い分ける「時間割」を導入することで、移動に係るストレスで何かをあきらめなくてもよい暮らしが実現できる人が増えることを期待している。
- ・高校生、大学生、高齢者などさまざまな年齢や立場の人が、“ぎゅっと”カーの利用実績やアンケート結果のデータを読み解き意見交換する機会をつくることにより、自分ごととして、また、さまざまな環境の人たちへの思いを馳せ、吉田町の地域交通を考える機運を醸成する。

（地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性）

- ・既存“ぎゅっと”カーは、運行形態が1つ（誰もがフルデマンド型で利用可能）だが、ニーズや利用実態に合わせ、運行内容を時間により変え、効率的で合理的な仕組みにする。
- ・キャッシュレス決済の導入により、既存バス路線への乗り継ぎの促進とデータ収集を図る。
- ・住民による地域公共交通の検討と意見交換を契機に、交通事業者とも一層のコミュニケーションを図り、将来的な地域交通を建設的に共創する関係性を構築する。

“ぎゅっと”カーよしだの活用で、子育て世代等の送迎負担軽減と みんなで実験データを読み解き地域交通を考える機運づくり

応募様式A

吉田町地域公共交通協議会

事業実施手順・スケジュール

（以下、敬称略）

【凡例】 ■：補助対象 →：実施／試行：調査・企画・準備 ★：地域公共交通協議会の開催

	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月	4月以降
全体	■ 実証実験	★			★				★			★	令和8年度の本格運行を見据える
・吉田町（企画課） ・名古屋大学 ・イズハラ・ソリューションズ	子育て世代の送迎負担について把握	「ぎゅっと」カー活用策の企画 キャッシュレス決済導入の検討	イベント等へのおでかけ ストレスについて把握	「ぎゅっと」カー活用策の企画	見直し	イベント等特別便の試行	子育て世代の送迎負担軽減“ぎゅっと”カー活用策の導入 キャッシュレス決済の導入	まとめ	まとめ				
		「みんなで」データを読み解き地域交通を考える会（住民懇談会）の企画、準備*1		実施（1回目）*2	企画準備（2回目）*3	実施（2回目）*4							
												まとめ	
・タクシー事業者	■ 実証実験	子育て世代の送迎負担軽減への“ぎゅっと”カー活用	モニターによる試行		イベント等特別便の試行								
・アイシン	■ 実証実験												
・しずてつジャストライン	バスへの乗継コースの顕在化 乗継の利便性向上策の検討		*1		利便性向上策のブラッシュアップ 情報発信*3		バス乗継強化策の試行						
・商工会 ・吉田町（こども未来課）	子育て世代の送迎負担について把握	「ぎゅっと」カー活用策の企画	モニターによる試行	見直し	子育て世代の送迎負担軽減“ぎゅっと”カー活用策の導入								
		子育て世代対象企画、調整、情報発信／イベント等特別便の調整、情報発信											
			*2への参加		*4への参加								
・榛原高校	「みんなで」データを読み解き地域交通を考える会（住民懇談会）への高校生の参画方法の検討、調整		*1	実施（1回目）*2	企画準備（2回目）*3	実施（2回目）*4		まとめ					
・吉田町（福祉課） ・社協		イベント等へのおでかけ ストレスについて把握		「ぎゅっと」カー活用策の企画 情報発信		イベント等特別便の試行							
				*2への参加		*4への参加							